

# JAあいち海部 自己改革の成果

2020年度

2024年度

～地域に必要とされるJAを目指して～

じゃーん!!



おいしいよ



とれたて  
どうぞ!



キレイだよ



食・農・くらしのそばに  
JAあいち海部

## 自己改革の目的

JAあいち海部は、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を実現するため、持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでいます。



## 令和6年度 自己改革実践の基本的考え方

令和5年度は組合員との対話に基づく自己改革実践サイクルの取り組みとして①～③の内容に取り組み、下記の通り実績を挙げました。

達成のための具体策	評価指標 (参考値)	R5年度 計画	R5年度 実績	R6年度 計画	R6年度 実績 (9月末)
① 予約相対取引や買取り取引の拡大	市場単価+3% <トマト> <レンコン> <イチゴ>	全体出荷量の 30% 20% 85%	全体出荷量の 39.3% 30.5% 88.1%	全体出荷量の 30% 20% 85%	全体出荷量の 39.6% 22.9% 91.6%
② 実需と結びつけた播種前出荷契約米の数量確保	共計販売単価 +6%	主食用米 3,000俵	主食用米 3,000俵	主食用米 4,000俵	主食用米 3,500俵
③ 指定日引取及び園芸フェアの開催による生産コスト削減	指定日引取 1袋90円 持帰値引 1袋60円	指定日引取 18回 園芸フェア 18回	指定日引取 16回 16,748袋 園芸フェア 21回 5,903袋	指定日引取 16,000袋/年 園芸フェア 5,000袋/年	指定日引取 5,658袋/年 園芸フェア 4,954袋/年

1

訪問活動や座談会を通じた「担い手との対話」を原点としてニーズを的確に把握します。

2

農業者の売上増加・コスト低減につながる担い手目線の必要な取り組みについて、目標及び実践具体策の策定等とあわせて実践し、改革の目的である所得増大を実現するほか、地域の活性化にも取り組みます。

**ア：担い手経営体や中核的担い手等を対象として、次のことに取り組みます。**

- ① 基幹品目を中心とした契約取引の一定量確保
- ② 農地集積による効率的な生産基盤の整備
- ③ 収量増加・品質向上に向けた新品種の導入
- ④ 安定的な労働力確保による農業経営の維持・拡大

**イ：中核的担い手や多様な担い手等を対象として、次のことに取り組みます。**

- ① 播種前出荷契約による契約の拡大
- ② 計画的な資材の取りまとめの実施

**ウ：その他として、次のことに取り組みます。**

- ① 指定日引取の取り組み
- ② 土壌診断の実施
- ③ 農機レンタル事業の利用拡大

**また、これらの取り組みにあたり、必要な農業資金の供給にも取り組みます。**

3

改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCAサイクルを回し、自己改革を着実に実践します。

## 自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組み

達成のための具体策		R5年度 計 画	R5年度 実 績	R6年度 計 画	R6年度 実績 (9月末)
①	施設の運営改善による効率的な運用と収支改善に向けた体制整備	広域施設利用の体制整備	広域施設利用の体制整備	-	-
②	地域農業者への経営支援と農業制度資金を中心とした金融サービスの提供による農業資金新規融資額の伸長	5.1億円	3.6億円	メイン強化先訪問カバー率 (114先70%)	メイン強化先訪問カバー率 (46先40.3%)
③	3Q活動の実践による組合員・利用者への寄り添う活動	3Q活動件数全契約者の33.3%以上	3Q活動件数全契約者の39.2%実施	3Q活動件数全契約者の33.3%以上	3Q活動件数全契約者の20.4%実施
④	共済窓口移管による体制整備	窓口集約の検討	窓口集約の実施	-	-
⑤	フレコン出荷拡充による資材コストの低減	出荷量全体の33%	出荷量全体の43%	出荷量全体の35%	年度末に集計

## 自己改革の実践に向けた組合員の意思反映

達成のための具体策		R5年度 計 画	R5年度 実 績	R6年度 計 画	R6年度 実績 (9月末)
①	部会組織等との意見・情報交換会	38回	55回	42回	23回
②	支部長会・座談会等による情報提供	68回	40回	78回	34回
③	組合員大学「みらいキャンパス」の開校	5回	5回	4回	2回
④	准組合員モニター会議の開催	4回	4回	3回	1回

## 組合員資格別の事業利用状況

正組合員である農業者へのサービスが疎かにならないよう、引き続きJAが地域になくてもはならないJAであり続けるため、組合員との徹底した対話を通じ、自己改革に継続して取り組んでまいります。

(単位：千円)

		信用事業		共済事業	購買事業
		貯 金	貸出金		
正組合員	金 額	142,578,203	8,223,872	288,461,219	3,354,004
	比 較	39%	17%	49%	70%
准組合員	金 額	123,954,486	36,364,136	171,344,998	536,849
	比 較	34%	76%	29%	11%
員 外	金 額	95,081,301	3,341,618	123,510,511	893,983
	比 較	27%	7%	22%	19%
合 計	金 額	361,613,990	47,929,626	583,316,728	4,784,836
	比 較	100%	100%	100%	100%

令和5年度末時点



## 次代へつなぐ 地域農業ビジョンの策定と実現

地域農業ビジョンとは、多種多様な担い手ニーズを捉え、農家所得の向上と魅力ある地域農業の実現のため、10年先を見据えて2018年に策定した地域農業の目指す姿です。環境の変化に柔軟に対応するため、組合員との対話を通じて新たな課題を抽出し、部門別に対策を検討するなど定期的に内容を見直しながら実践しています。



### これまでの取り組み経過（抜粋）

令和2年度	主要4品目部会長へのヒアリングおよび農家の経営意向調査を実施
令和3年度	訪問活動による課題の抽出
令和4年度	遊休農地・空きハウスのマッチング
令和5年度	収量向上に向けた実証実験（基幹4品目）をモデル農家で実施
令和6年度	組合員との対話を深めることでさらなる課題の掘り起こし

（令和6年9月末時点）

## 組合員との徹底した議論による意思反映

組合員との徹底した対話を通じ、ご意見やご要望を事業計画やJA運営に反映しています。

### 徹底した議論の場とは…

生産組合長会や地区別座談会、生産部会・代表者会、営農受託部会青年部・女性部、地区運営委員会総代会など



	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
開催回数	180回	176回	172回	192回	103回
参加のべ人数	2,393人	2,315人	2,389人	5,143人	1,390人
組合員意見数	88件	92件	26件	47件	4件
JA回答数	87件	91件	26件	42件	4件

（令和6年9月末時点）



## 組合員大学「みらいキャンパス」

幅広い見識と行動力を備えた組合員の次世代リーダー育成を目的に組合員大学「みらいキャンパス」を平成29年より毎年開催しています。常勤役員による講義やグループ討議、JA役職員との意見交換などを実施しています。令和2年6月の役員改選では、みらいキャンパスの卒業生から理事が誕生しました。



	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加人数	コロナ禍で中止	19名	14名	12名	14名

## 准組合員モニター

年々増大する准組合員の意思をJA事業運営に反映させることを目的に、平成30年より「准組合員モニター」を開催しています。野菜ソムリエによる野菜講義やJA施設および生産者ほ場の見学などを通じて、地域農業応援への意識高揚を図るほか、JA利用に関するアンケートを実施し、店舗の改善に繋げています。



	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
参加人数	29名	9名	11名	21名	12名



## 担い手への総合的な支援

担い手担当と各部署が連携して出向く活動を行い経営診断や補助事業等の活用提案、ICT技術の導入支援、農業リスク診断などを実施しています。

さらに、無料職業紹介事業の推進や特定技能制度を活用した外国人材の雇用支援、新規就農支援など、生産基盤の維持拡大や農家所得向上に向けて様々な支援を行っています。また、各種の補助事業・交付金・補助金の申請も支援しています。



### 担い手担当による出向く活動 訪問結果

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訪問回数	3,148回	2,771回	2,962回	2,797回

### 補助事業・交付金・補助金申請 支援結果（抜粋）

	件数	金額
令和6年度あいち型産地パワーアップ事業	31	5,889万円
愛知県施設園芸用燃油価格高騰対策支援金	390	3,443万円

## 農業資金ニーズへの積極的な提案

令和3年度より農業融資担当を新設し、経済事業の担い手担当や園芸担当職員との情報連携や同行による農家訪問を通じて、組合員の幅広い農業資金へのニーズに対応する取り組みを推進しています。

経営の安定や改善、効率化、高度化などの組合員の多様な資金需要に的確に応えることで、農業所得の向上に取り組んでいます。



### 農業融資 新規実行額

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実行額	2億5,207万円	3億5,522万円	4億5,153万円	3億6,025万円



# 農業無料職業紹介事業

組合員の労力軽減や所得向上を目的に、無料職業紹介事業を令和2年度より実施しています。対象の職種を農業に限定し、人手を求める組合員農家と農業で働きたい地域住民のマッチングを行っています。



(令和6年9月末時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
成立数	42件	40件	32件	22件	20件

# 援農ボランティア

令和4年度  
開始

組合員農家が抱える労働力不足の課題解決に向けて、准組合員から援農ボランティアを募集しています。

令和6年度はイチゴの出荷シーズン終了後の株切作業や、花ハスの出荷作業に参加していただきました。



		令和5年度	令和6年度
参加人数	花ハス	5名 (うち、3名パート)	5名
	イチゴ	12名	22名



# レンタル農機の普及

家庭菜園を楽しむ方や定年帰農者などへの農業支援として、農機のレンタルを行っています。レンタルは1日単位から申し込みすることができ、操作方法の説明も行うため、畑仕事の効率化・省力化のためにご利用いただいています。



詳細は左記のQRコードよりご確認ください



※利用は組合員（正・准）に限ります

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出実績	49回	57回	53回	71回

## フレコン出荷の拡充

JAあいち海部では、玄米出荷の省力化による資材コストの低減を目的に、30kg用紙袋からフレコンへの移行を進めています。令和4年度から試験的に導入を行い、運送業界で時間外労働の上限規制が行われる「2024年問題」にも対応できるように、販売先との細かな調整を重ねながら選ばれる産地を目指して取り組みを続けていきます。



	令和5年度実績	令和6年度目標
フレコン出荷拡充による資材コストの低減	出荷量全体の43%	出荷量全体の35%

## SNSを活用した情報発信

地域農業やJAへの理解促進を図るため、YouTubeやLINE、インスタグラムなどのSNSを活用し、直売所のセール情報や管内の旬な農産物の紹介、剪定作業や栽培方法など幅広い世代へ情報を発信しています。

**LINE**



**JAあいち海部**  
友だち 6,061

愛知県の尾張（海部津島）にある農協です！  
愛西市、津島市、あま市、弥富市、蟹江町、大治町、飛...

トーク 投稿 サービスページ

最近の投稿 基本情報 おすすめの公式アカウント

最近の投稿 もっと見る



**インスタ**

ja.aichiama フォロー メッセージ

投稿335件 フォロワー1645人 フォロー中443人

JAあいち海部(あいち海部農業協同組合)  
農協  
こんにちは！JAあいち海部の広報大使あまにゃんですにゃ！  
JAあいち海部は愛知県の西部に位置し、お米をはじめ、レンコン、イチゴ、トマト、赤シソなどの農産物や、ポインセチアなど花きの生産も盛んに行われていますにゃ  
#jaあいち海部 #秋を恋む  
📍 www.ja-aichiama.com + 2




**81万回再生突破**

**オンライン農業塾**  
**柿の木の剪定**

### JAあいち海部 公式SNS



YouTube



LINE



Instagram

	登録者数
YouTube	9,039名
LINE	6,239名
Instagram	1,683名

(令和6年9月末時点)



## 3Q活動の実践による寄り添う活動

共済事業では、組合員・利用者とのつながり強化や満足度の向上と保障の充足を目指して継続的な訪問活動を行っています。職員が契約者と面談して、けがや病気、建物の損害等の請求漏れの確認や結婚・出産といった環境の変化について何う「3Q活動」と、現在加入している保障内容について確認する「あんしんチェック」に取り組んでおり、毎年全契約者の3分の1を目標値として設定し、渉外担当者が中心となって積極的な活動を行っています。



	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
訪問活動実績	14,897件	12,912件	11,448件	13,274件	10,334件

(令和6年9月末時点)

## 気軽に農業を体験できる貸し農園事業

農業従事者以外の方々に向けて、一定区画に区切られた農地の貸出を行っています。気軽に農業を体験したい方や、定年退職後の健康維持や趣味で農業を始めてみたいと考えている方に最適です。

※区画に空きが発生した場合は、当JAのホームページにて募集のお知らせを掲載いたしますので、ご確認ください。



JAあいち海部農園 七宝  
あま市七宝町桂弥勒24番地  
(あま市七宝グラウンド東)



JAあいち海部農園 甚目寺  
あま市新居屋高畑9番地  
(甚目寺郵便局西)

## 組合員に寄り添う相談窓口

当JAでは北部・南部営農センターに営農主幹を配置し、農業に関する様々な営農相談や指導を行っています。また、農地や就農に対する相談に加え、不動産・相続や介護などに関する相談も受け付けており、各種相談会などの開催もしております。

組合員の皆さまが抱える問題の解決に向けてサポートをいたしますので、お困りの際はぜひご相談ください。



農に関する  
相談窓口



各種相談に対する窓口や詳細につきましては右記のQRコードよりご確認ください

相談窓口に  
くらしに  
関する







## レンコン

新品種導入に向けた優良品種の試験栽培を実施し、時期や収穫方法ごとに適した品種を選定・普及することで単収増加を目指しています。生産者の労力軽減による生産体制の確立と、共同選果による品質の高位平準化、一元集荷による流通の合理化を目的に稼働・運営してきたれんこんセンターの選果機を令和5年8月に27年ぶりに改修し、選果処理能力を向上させました。

また、需要期である冬期以外でも安定した販売を行えるように、**海外への輸出に向けた取り組みも行い、更なる販売力強化を図っています。**

### 令和5年度実績

栽培面積	146.7 ha
販売金額	7.1 億円



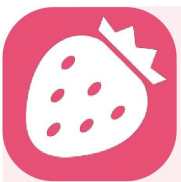
販路拡大に向けて海外へ輸出  
需要期以外でも販売できる体制を構築！

令和5年8月  
選果機改修



### これまでの取り組み

令和2年度	れんこん缶詰 発売
令和3年度	れんこんチップス 発売
令和4年度	れんこんラーメン れんこんうどん 発売
令和5年度	れんこんセンター選果機 改修



## イチゴ

新品種ブランド「愛きらり」を出荷開始  
産地の活性化とブランド力向上へ！

あまイチゴ組合は平成29年に4組織が合併して誕生しました。同年にはイチゴセンターも竣工し、一元集荷・配荷の体制を確立しました。

また、収量増加・品質向上を目的にICT研究会を設立し、炭酸ガス濃度や湿度など環境制御技術を整理したことで、6年間で単収を44%増加させるなど、農家所得の向上を実現しています。

**令和5年度には、愛知県産の新品種ブランド「愛きらり」の出荷を県下で一番早く開始しました。**

「愛きらり」は果実が濃い赤色かつ大粒であり、糖度も高く厳冬期の収量も多いのが特徴であるため、高い収益性が期待されています。

### 令和5年度実績

栽培面積	14.1 ha
販売金額	10.1 億円



新品種  
出荷開始

### これまでの取り組み

平成29年度	イチゴセンター竣工 あまイチゴ組合設立
令和4年度	いちご新規就農支援事業 スタート
令和5年度	新規就農支援事業 いちご道場 第1期開始 新品種ブランド 「愛きらり」出荷開始





# トマト

市場実需者や消費者のニーズに合わせ  
様々な出荷規格やパッケージを導入！

トマトセンターでは令和元年に選果精度の向上と有利販売を目的に選果機ライン更新工事を行いました。自動箱詰めロボ等による省力化や高精度カメラによる選別を導入したことで、**A品率向上（平成30年度18.9%→令和5年度25.8%）**並びに高位平準化が実現し、農家所得の増加に繋がっています。

販売面では、トマトの色や形に応じた最適な市場出荷を行うために様々な出荷基準を設け新たな規格やパッケージを戦略的に導入し、消費者のニーズにきめ細かく対応することで売場の確保や販路拡大、契約取引の増加に取り組み、販売力強化を図っています。



## これまでの取り組み

令和元年度	トマトセンター選果機更新
令和2年度	セブン-イレブンのミックスサンドに使用
令和4年度	AIカメラによる収量予測実証実験開始

## 令和5年度実績

栽培面積	16.5 ha
販売金額	7.7 億円



# お米

南部カントリーエレベーター増強工事完了！  
地域から必要とされる共同乾燥施設の運営へ


水田農業の生産振興と消費者および実需者から求められる良質な米づくりに向け、**成長戦略として令和4年に南部カントリープラント増強工事**を行いました。組合員のニーズに柔軟に対応しながら、地域に必要とされる共同利用施設の運営に取り組みとともに、農地中間管理機構と連携して担い手への農地の集積・集約を進めています。

また、実需と結びつけた播種前出荷契約米の数量確保やフレコン出荷拡充による資材コストの低減、新品種の導入および普及拡大に取り組み、県下有数の水田地帯として更なる産地振興を目指します。



新米出荷  
県下最速

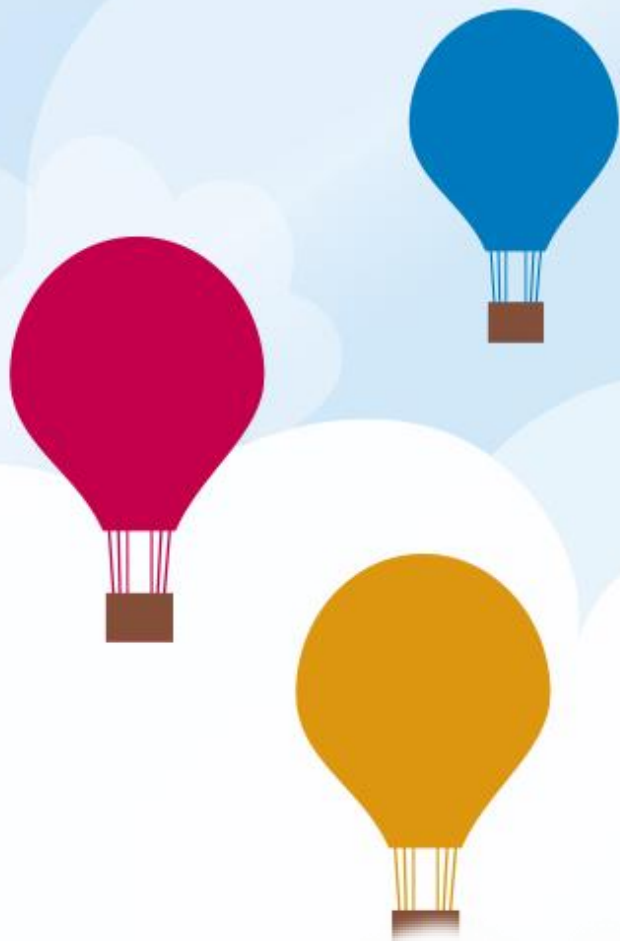
## これまでの取り組み

令和4年度	南部カントリープラント増強工事竣工
令和4年度	玄米30kg袋に加えて白米10kg袋の保有米新設（南部地区） 
令和5年度	JAなごやとの施設利用の体制を整備

## 令和5年度実績



農地中間管理機構 新規貸付面積	162 ha
販売金額	13.8 億円



食・農・くらしのそばに

JAあいち海部

<https://www.ja-aichiama.com/>



発行／あいち海部農業協同組合 編集／企画部  
〒496-0876 愛知県津島市大縄町9丁目63番地  
TEL:0567-28-6760 FAX:0567-28-6655  
自己改革の成果 (Vol.3) 2024年12月発刊



当JAのHPはコチラから